

高知工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	英語II
科目基礎情報					
科目番号	0024		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	総合科学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	教科書：伊東治己他「New ONE WORLD Communication II」（教育出版） 復習教材：「New ONE WORLD Communication II Work Book」（教育出版） 単語集：「データベース3000基本英単語・熟語」（桐原書店） 参考書：英和辞書，和英辞書				
担当教員	赤山 幸太郎,佐々木 昌太郎				
到達目標					
到達目標】 1. 基礎的な語彙，文法，表現を身に付ける。 2. 基礎的なある程度まとまりのある文章を読み，理解することができる。 3. 基礎的なある程度まとまりのある文章を聞き，理解することができる。 4. 英語を通して異文化を理解することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	基礎的なある程度まとまりのある英文を読み，理解することができる。また，それらに関する英語での簡単な質問に，英語で答えることができる。		辞書を使用しながら，基礎的なある程度まとまりのある英文を読み，理解することができる。また，それらに関する英語での簡単な質問に，英語で答えることができる。		辞書を使用しても，基礎的なある程度まとまりのある英文を読み，理解することができない。また，それらに関する英語での簡単な質問に，英語で答えることができない。
評価項目2	ある程度まとまりのある簡単な英文の内容を正しく聞き取り，理解することができる。		ある程度まとまりのある簡単な英文の内容を聞き取り，概要を理解することができる。		ある程度まとまりのある簡単な英文の内容を聞き取ろうとしても，概要すら理解することができない。
評価項目3	身近な事柄や興味・関心のある内容を簡単な英文で正しく表現することができる。		身近な事柄や興味・関心のある内容を簡単な英文で表現することができる。誤りがあったとしても，指摘されれば，正しく書き直すことができる。		身近な事柄や興味・関心のある内容を簡単な英語で文意を伝えることができない。誤りを指摘されても，正しく書き直すことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	英語 I で培った基礎力に基づいて，英語の発音，語彙，文法および構文，コミュニケーション力の更なる基礎固めを行う。同時に，英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。				
授業の進め方・方法	教科書本文を文型および修飾関係，構文，単語・熟語等を講義形式で確認しながら，演習形式で精読させることが中心となるが，適宜，リスニング，シャドーイング，サイト・トランスレーションなども取り入れ，聴解力，会話力，速読力も身に付けさせる。また，新出の文法事項，表現等を使った英作文で表現力も補強していく。同時に，定期的に単語テストも行い，語彙力の増強もはかる。				
注意点	試験の成績70％，平素の学習状況等（課題・小テスト・レポート等を含む）を30％の割合で総合的に評価する。学期毎の評価は中間と期末の各期間の評価の平均、学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。なお、通年科目における後学期中間の評価は前学期中間、前学期末、後学期中間の各期間の評価の平均とする。技術者が身につけるべき専門基礎として，到達目標に対する達成度を試験等において評価する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1年の復習 Ambassador of World Peace [1-4]：現在完了形および関係副詞の復習，It+seemsなど+that節	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		2週	Ambassador of World Peace [1-4]：現在完了形および関係副詞の復習，It+seemsなど+that節	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		3週	Ambassador of World Peace [1-4]：現在完了形および関係副詞の復習，It+seemsなど+that節	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		4週	Ambassador of World Peace [1-4]：現在完了形および関係副詞の復習，It+seemsなど+that節	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		5週	Dogs as Human Companions [5-8]：形式主語 It, 過去完了形および分詞構文の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		6週	Dogs as Human Companions [5-8]：形式主語 It, 過去完了形および分詞構文の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		7週	Dogs as Human Companions [5-8]：形式主語 It, 過去完了形および分詞構文の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		8週	Dogs as Human Companions [5-8]：形式主語 It, 過去完了形および分詞構文の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
	2ndQ	9週	The Culture of Bowing [9-12]：S+V+C（＝現在分詞），The+比較級，the+比較級，仮定法過去の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	
		10週	The Culture of Bowing [9-12]：S+V+C（＝現在分詞），The+比較級，the+比較級，仮定法過去の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。	

後期		11週	The Culture of Bowing [9-12] : S+V+C (=現在分詞) , The+比較級, the+比較級, 仮定法過去の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		12週	The Culture of Bowing [9-12] : S+V+C (=現在分詞) , The+比較級, the+比較級, 仮定法過去の復習	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		13週	The Floating Islands of Lake Titicaca [13-17] : 形式目的語のit, 過去完了進行形, 関係代名詞whichの非制限用法, 前置詞+関係代名詞	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		14週	The Floating Islands of Lake Titicaca [13-17] : 形式目的語のit, 過去完了進行形, 関係代名詞whichの非制限用法, 前置詞+関係代名詞	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		15週	The Floating Islands of Lake Titicaca [13-17] : 形式目的語のit, 過去完了進行形, 関係代名詞whichの非制限用法, 前置詞+関係代名詞	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		16週		
	3rdQ	1週	The Floating Islands of Lake Titicaca [13-17] : 形式目的語のit, 過去完了進行形, 関係代名詞whichの非制限用法, 前置詞+関係代名詞	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		2週	The Floating Islands of Lake Titicaca [13-17] : 形式目的語のit, 過去完了進行形, 関係代名詞whichの非制限用法, 前置詞+関係代名詞	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		3週	Optical Illusion [18-22] : 同格のthat, 関係代名詞whoの非制限用法, S+V+C (=過去分詞) , 関係副詞where, whenの非制限用法	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		4週	Optical Illusion [18-22] : 同格のthat, 関係代名詞whoの非制限用法, S+V+C (=過去分詞) , 関係副詞where, whenの非制限用法	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		5週	Optical Illusion [18-22] : 同格のthat, 関係代名詞whoの非制限用法, S+V+C (=過去分詞) , 関係副詞where, whenの非制限用法	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		6週	Optical Illusion [18-22] : 同格のthat, 関係代名詞whoの非制限用法, S+V+C (=過去分詞) , 関係副詞where, whenの非制限用法	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		7週	Optical Illusion [18-22] : 同格のthat, 関係代名詞whoの非制限用法, S+V+C (=過去分詞) , 関係副詞where, whenの非制限用法	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		8週	English Textbooks from Around the World [23-27] : 倒置構文, 強調構文, S+V+O+C (=過去分詞) , S+V+C (=疑問詞節)	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
	4thQ	9週	English Textbooks from Around the World [23-27] : 倒置構文, 強調構文, S+V+O+C (=過去分詞) , S+V+C (=疑問詞節)	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		10週	English Textbooks from Around the World [23-27] : 倒置構文, 強調構文, S+V+O+C (=過去分詞) , S+V+C (=疑問詞節)	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		11週	English Textbooks from Around the World [23-27] : 倒置構文, 強調構文, S+V+O+C (=過去分詞) , S+V+C (=疑問詞節)	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		12週	English Textbooks from Around the World [23-27] : 倒置構文, 強調構文, S+V+O+C (=過去分詞) , S+V+C (=疑問詞節)	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		13週	文法のまとめ [28-30] : 仮定法過去完了, wish+仮定法, as if+仮定法, 完了形の分詞構文, 完了形の不定詞, 付帯状況を表すwith, さまざまな譲歩表現, など	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		14週	文法のまとめ [28-30] : 仮定法過去完了, wish+仮定法, as if+仮定法, 完了形の分詞構文, 完了形の不定詞, 付帯状況を表すwith, さまざまな譲歩表現, など	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		15週	文法のまとめ [28-30] : 仮定法過去完了, wish+仮定法, as if+仮定法, 完了形の分詞構文, 完了形の不定詞, 付帯状況を表すwith, さまざまな譲歩表現, など	新出語(句)や表現、文法を用いた文を正しく読んだり、聴いたり、書いたり、それらを英語での会話に使用したりすることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	

				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後14,後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0